

廃材積載船舶火災！ - 西日本防災システム

2013 02 21

2月21日市原市八幡海岸通の市原公共埠頭に停泊中の貨物船「**アイトリップ**」で積み荷から出火しました。

火災は消火活動が難航し、消火水の重みで沈没しないよう船内にたまった水を抜いたり、水量を調節するなど、鎮火までに約6時間半かかったそうです。

市原署によりますと、中国人ら8人の乗組み員は全員無事だそうです。

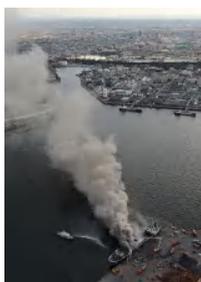
積み荷はクーラーなどの廃棄家電製品をスクラップして生じた鉄くずで、この日は約1,000トン積み込む予定でしたが、約450トン搬入したところで煙が上がり始めたようです。

消火しようと鉄くずを出し入れするうちに船倉に新鮮空気が流れ込み、炎が激しくなったようです。

現場はJR八幡宿駅の西約2キロの工業地帯で有毒物質などの発生はなかったようです。

最近このようなスクラップからの船舶火災が急増していますので、御注意下さい！

参考弊社NEWS <http://www.nbs119.co.jp/pdf/tankerff.pdf>



映像はインターネットより



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

